筑波大学附属大塚特別支援学校

附属大塚 学校だより

令和４年度　第６号　　2023年1月31日発行

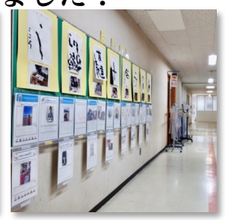
○１月の活動をご紹介いたします。

令和５年もひと月が過ぎようとしています。まだまだ感染症への心配は尽きませんが基本的な対策をしっかりと行いながら教育活動を工夫して進めて参ります。来週末の２月１０日（金）は、筑波大学附属大塚特別支援学校研究発表会（兼第５８回知的障害児研究協議会）を、対面とオンラインにて実施することとなっています。各部発表授業の準備はもちろん、それぞれの学級が１年の取り組みをまとめて整理しているところです。今号では新年の各学部の活動の様子をご紹介いたします。 ３学期は短いですが、ギュッと内容の濃い学期となるよう教職員一同努力して参ります。引き続きご協力のほど、よろしくお願いいたします。

幼稚部：いっしょにたくさんたべようね

幼稚部では2学期から調理実習を行い、食材に触れたり、調理の様子を見たり、味わったりしてきました。最初はさつまいもを大学芋に。そしてじゃがいものフライドポテトを経験してきました。さて3学期です。身近な食材で見た目も面白いものはないかな、とやってみたのは玉ねぎのオニオンリングです。玉ねぎは皮をむくのが面白い食材です。調理前にみんなに渡したら、ちゃんとペリペリ上手にむいて楽しんでいました。調理室に入るとプ～ンといい匂い。先生が油で揚げているのを見てから教室に戻っていただきました。パン粉のサクサク触感を楽んだお友だち、お皿の上でくるくる回して形を楽しんだお友だち、あっという間に食べちゃっておかわり～！だったお友だち、しばらくにらめっこして小さくしたのを食べてみたらおいしかったことに気づいてくれたお友だち。それぞれが玉ねぎさんとの出会いを経験しました。帰りには「お土産玉ねぎ」を持って帰ってもらいました。お家でどんなお料理に変身したかな。これからもみんなで一緒にたくさん食べて、もっともっと元気になろうね。

小学部：３学期スタート！駒場高校交流会(ミライの体育館)をしました！



新年、そして３学期が始まり、厳冬の寒さが身に染みますが、小学部児童の皆さんは元気に登校し、スムーズな学校生活がスタートしました。グラウンドで凧揚げをするなど、冬らしい学習に取り組んでいます。小学部の廊下には、冬休みの思い出やお手伝い、お正月の過ごし方についての絵日記が掲示されています。祖父母や親戚と一緒に過ごした子、旅行やスキーに出かけた子、自宅でゆっくりとお正月を過ごした子と思い思いの冬休みを過ごしたようです。

さて、1月21日(土)には、附属駒場高等学校(筑駒)の生徒の皆さんと交流会を体育館で行いました。筑駒のお兄さんたちが冬休みの間に制作した「ミライの体育館®」のコンテンツ、「めいろ」と「もぐらかこみ」の２つのゲームを、お兄さんたちと一緒に楽しみました。最初は慎重だったお兄さんたちもだんだん慣れてきて、大塚の子も筑駒のお兄さんたちも笑顔になり、お互いに「イェーイ！やったー！」と歓声をあげたり、ハイタッチをしたりと終始和やかに過ごしました。交流会が終わった後も「お兄さんたちきたね！楽しかったね！」と何度も話していた子がいました。また、12月の冬のお楽しみ会で交流した際に、ルービックキューブを披露してくれたことを思い出し、自宅からルービックキューブを持ってきた子は、自分のキューブを筑駒のお兄さんに全面揃えてもらい、「ありがとうございました！」と心のこもったお礼を伝えていました。お互いの絆を深めることができた交流会となりました。

中学部：各学年の学習を紹介します！

１年生は、美術校外学習で国立西洋美術館の『ピカソとその時代　ベルリン国立ベルクグリューン美術館展』に行きました。たくさんの作品の中から好きな作品や気になった作品を選び、iPadで撮影して感想を伝え合いながら鑑賞し、気に入ったポストカードを一人２枚ずつお土産として購入しました。事後学習では、そのポストカードの作品をモチーフに模写をしたり、作品から感じられた印象を色彩豊かに表現したりしました。

２年生は、美術の授業で水墨画に取り組みました。水墨画とはどのようなものかについて説明や見本の作品をみて、イメージをふくらませて、「にじみ」や「かすれ」の水墨画の技法を体験しました。墨の濃淡や、様々な線（太い線、細い線、まっすぐな線、曲線。長い線、短い線）などを組み合わせて、一人一人味わいのある作品に仕上げました。

３年生は、高等部の体験入学をしました。高等部の生徒たちが中学部の生徒に作業の内容を丁寧に教えてくれて、手本を示してくれたりしたことで、体験後は、高等部の先輩たちのように頑張りたい気持ちや高等部になったらやってみたいこと等、高等部への期待感が高まり良い経験となりました。

高等部：雪の生活体験に行ってきました

1月月19日（木）、20日（金）と雪の生活体験に行ってきました。場所は群馬県の尾瀬岩鞍スキー場です。コロナ禍の前までは、中高合同の行事としてスキー合宿として訪れていた場所です。今回は、趣向をガラリと変えて高等部のみ、また、普段取り組んでいる教科学習のうち、社会、理科の内容を盛り込んだ活動内容を設定しました。

1日目は理科。クラスごとにテーマを設定して雪の結晶の観察（1年）、氷結実験（2年）、雪のペーパー調べ（3年）に取り組みました。日中はゴンドラで山頂に上り、実験がてら付近の散策も行いました。夜は宿舎周辺でさらに実験と観察を重ねました。2日目は社会。世界遺産にも登録されている富岡製糸場をガイドさんの説明を受けながら、明治時代に日本の近代化と発展の礎となった生糸産業の歴史についてじっくりと学びました。お昼には富岡地方の名産物を盛り込んだ郷土料理も味わうことができました。

学校に戻ってからは、理科の実験観察、社会科見学、どちらもロイロノートやワークシートにしっかりとまとめ、振り返りの学習をおこなっています。充実した１泊2日になりました。